

協 議 会 議 事 録

1 会 議 名	平成30年度第1回太宰府市総合交通計画協議会
2 開催日時	平成30年6月28日（木）10:00～12:00
3 開催場所	太宰府市役所 3階 庁議室
4 出席者	外井委員（会長）、岡本委員、辻委員、富永委員、田中委員、山口委員、森委員、井出委員、下園委員 オブザーバー：清水副市長
5 次 第	- 協議会の目的とスケジュール - 太宰府市の交通課題 - 平成29年度事業について ①太宰府天満宮周辺地域の課題及び対策の方向性 - 平成30年度事業について ①西鉄天神大牟田線周辺地域 ・課題と関連計画 ・調査検討概要 ②太宰府天満宮周辺地域 ・通過交通調査
6 開催状況	 

7 審 議 内 容	
事務局	(開会挨拶)
事務局	(市長より委嘱状交付)
市長	(挨拶) 本協議会は昨年度から協議をいただいておりますが、本年度から正式に市の附属機関として、条例に位置づけられた協議会として開催させていただくことになりました。 太宰府市では、インバウンドや通過交通により慢性的な交通渋滞が発生しており、地域住民からも渋滞対策が強く求められている。市政方針としても渋滞対策を喫緊の課題としてとらえ、本協議会でもソフト、ハードの両面から検討を行っていただければと考えている。各専門の方々にお集まりいただいているので、様々な観点から、皆様のお力添えをよろしくお願いしたい。
全員	(各自自己紹介)
事務局	(会長選任) 改めて会長を選任する。昨年度から引き続き、外井委員を推薦したいと思うが、いかがでしょうか。
全員	異議なし
事務局	外井委員、よろしいでしょうか。
外井委員	はい。
会長	(会長席へ移動、挨拶) 引き続きとなりますが、今年度から正式に市の附属機関として協議会を開催ということで、よろしくお願いいたします。 それでは早速、議事に入ることとして、事務局から資料の内容について説明をお願いしたい。
事務局	(資料説明)
委員	協議会の目的を考えると、委員に観光方面のメンバーを入れて意見をもらってはどうか。
会長	これから委員を追加できるのかという話もあるが、観光の視点を頭に入れて検討を進めていくことが必要というご指摘だと思う。

事務局	渋滞という視点でいくと、昨年度の調査でわかったこととして、観光バスはそこまで渋滞に影響を及ぼしているわけではない。ただし本市は観光拠点なので、観光施策を進めていくことは必要で、今後観光の視点で整備を進めていくことはやぶさかではない。
事務局	現在、観光部局で観光基本計画を策定しているところである。内部での検討を行い、その上で観光の視点を踏まえた施策等をお示ししたい。
委員	県の議会で問題視されていることとして、観光客を太宰府市にもってくることは良いが、市民が混雑で苦しんでいる現状がある。市民が苦しまないように、どのようにして観光客を連れてくるか？ということが大事。観光客の動きとして、6割強は個人客で、2～4人で来る。電車、バス、レンタカーといった手段でもインバウンドが増えていく。そういう意識をもって、交通対策の中で観光と連携をとっていくことが必要となる。ソフト対策とあわせ、どうさばくかの検討が大事である。
事務局	先日、九州地方整備局より情報提供をいただいた。現在ではレンタカーについてはどういう経路をたどるか追尾することが可能となっていて、太宰府天満宮に向かう車は、天満宮付近で駐車場を探して迷走し、そのまま市外で出て行ってしまう状況がみられるということである。そこで、市の駐車場案内システムはどうか？とのご指摘があった。市では駐車場の満空情報を発信しているものの、利用者にとってわかりづらいものとなっているかもしれない。
事務局	計画を策定するにあたり、バス、レンタカーの調査をする中で、そのあたりを踏まえ、公共交通網活性化協議会の中であわせて考えていく。
会長	今後、観光部局でも考えてもらうことが必要になりそうですね。
事務局	今後、しっかりやっていく。
委員	隣接市と接続する未整備の都市計画道路があるということだが、それはどこか。
事務局	未着手の都市計画道路が2路線ある。一つは筑紫野市と接続する塔原太宰府線で、都市計画道路見直しで整備する方針とはなったものの、着手見込みはない状況である。もう一つは大野城市と接続する下大利駅東線で、連立立体事業にかかる路線となっている。
委員	その2路線は、天満宮に関わる渋滞等には関係なさそうに思える。五条周辺の都市計画道路はどうなっているか。

事務局	以前計画されていたが、地形や流入の関係で現在は廃止となっている。見直しの検討も必要かと思う。
会長	資料における市全体の課題図だが、東西方向の幹線道路が必要ということである。エリアプライシング等で混雑の対策を行っても、それは応急処置的な形であり、根本的な解決にはならない。ネットワークをどうすべきかということが大事だと思う。通過交通をどう処理するかを、渋滞箇所だけでなく全体的にやっていくことが必要で、それをどうするかの検討をしていくことが大事。原因が違えば対応も違ってくる。
事務局	おっしゃる通りで、エリアプライシング等の短期的な対策と、長期にわたる道路計画をそれぞれ考えていく。
会長	通過交通が渋滞の要因とすれば、短期的なものだけでなくネットワークを考える等の視点が必要。
事務局	今のところ東西軸に新たに道路を設ける計画はない。北側は特に史跡が多い土地柄であるし、具現性の問題がある。長浜太宰府線が東西軸となることも考えるが、拡幅予定もなく、片側1車線の2車線道路で交通量をさばけるかは不安がある。
委員	梅大路交差点は、右折レーンは十分長いと思うが、渋滞するのはやはり踏切が近いのが問題だと思う。
委員	改良調査を今後やっていくこととしている。西鉄さんについては、踏切や駅前広場、駅周辺に関してこういう考えがあるとか、事業計画等があれば、この協議会の中でも話をいただければと思う。
事務局	西鉄さんに関しては、今は駅舎の改修をしているということで、駅舎についてはここでそこまで言及する話ではないとは思いますが、踏切や駅前広場といった個別の話については、この協議会でも取り上げていきたい。
委員	将来交通量がわからないと計画を策定できないと思うがどうか。 遠い未来の話ではなく近い将来、自動運転社会がやってくる。皆が車を持たない、車をシェアする社会になるのではと考えられている。外出、移動する時だけ車が人を拾いに行くとか。車は車庫で眠っている時間の方が長く、非効率であり、今後は自動車を管理するのは管理会社に任せるということになっていくかもしれない。その中で、将来は人口も減るし、車が減っていくと考えられる。また、自動運転社会が進むこととなれば、交差点の形状が変わっていくという可能性も考えられるかもしれない。そのあたりも頭に入れて、検討を進めていくことが必要ではないか。太宰府市は構造物をつくりにくい土地柄であり、ソフト対策でやっていくしかない。

会長	上位計画がどうなっているかわからないが、将来どうなるか、どのようにしていくかといったビジョンがあるかどうか。
委員	福岡県は、自動運転の先進県になろうと考えていて、昨年、自動運転の取りまとめをしている内閣府と、自動運転の社会実験や今後の見通しについて情報交換を行ったところである。 バスの運転手不足は深刻で、大野城市の話を例に挙げると、西鉄にコミュニティバスを委託しているが、5年契約を更新しようとしたところ、5年先にドライバーを確保できるか不安があるとの理由で、今回は5年契約を断られたということである。社会的な変化も視野に入れて、将来の交通のあり方を議論すべきだと考える。
会長	そういう話をこの協議会でどれだけ取り入れるか。ハードをどんどんやっていくのではない、というイメージですね。
委員	ソフト的な対策を考えていく。人口も車も減っていく中で、(太宰府市が抱えている課題である)インバウンドを含め、人をどうやって目的地に運ぶかが重要。
会長	調査については何か補足や質疑等はあるか。
事務局	次回の協議会では、候補地を現地案内したいと考えている。どういうネットワークになっているか示す準備をしたい。
委員	佐野東地区で大規模な区画整理を行うようになっている。これだけ大規模であれば、影響がこの周辺だけでないと思うので、平成30年度に検討する箇所に挙げている天神大牟田線沿線の交通渋滞の検討では、ここだけでなく市域全体からの影響を考えて課題を出していく考え方がよいのでは。
委員	ちなみに、渋滞の解消に向けた話をしているのに、佐野東地区に人を集める話になっているのはなぜか？
事務局	土地利用の側面がある。この地区は市街化調整区域で、両側は市街化区域である。市街化区域に挟まれた土地で、道路整備をうまくやっていき、土地利用を的確に進めていくという流れがある。区画整理でやっていくこととして、話が進められてきた経緯がある。
事務局	まちづくりと渋滞対策を一緒に、という形になっている。
事務局	区域マスが変わった経緯もある。
委員	まちづくりの中で広い幅員の街路整備をして、周辺の渋滞解消につなげる形という

	ことかと理解する。
会長	調査に関して、今決めておくことはあるか。
事務局	調査について今確定したいというよりは、現地を見てからでないといけないかと思うので、次回の協議会で現場見学を行い、調査候補地を見た上で議論を深めたい。
委員	資料にスケジュールが示されているが、協議会の開催はどれくらいの回数を予定しているか。
事務局	予定では、本年度 4 回開催としている。
事務局	お示ししているスケジュールとして、基本的には平成 30 年度末で計画案を示したいと考えているが、また今後の検討の中で調整しながらやっていきたい。
委員	計画期間はどれくらいを想定しているか。そういう想定は必要。
事務局	プログラムは 5 箇年と考えている。計画自体は、本市が特殊な地域ということもあるので、どれくらいできるかということを考えながら進めていきたい。
委員	20 年、30 年、40 年と、道路整備については検討が必要になってくると思う。
会長	質疑は以上とし、進行を事務局にお返しする。
事務局	事務局で、次回開催について日程調整をして、改めてご連絡したい。 以上で第 1 回協議会を閉会とする。
事務局	(閉会挨拶)